

第3回 鹿島灘・外房の港湾における地震・津波対策検討会議 議事概要

日時：平成24年1月26日（木）16：00～18：00

場所：水戸プラザホテル

○今回は、津波想定のために実施したシミュレーションの結果や基本方針（案）について、事務局からの説明をもとに意見交換を行うとともに、地震・津波対策に関する課題及び対応策について議論を行った。

○各委員からは、以下のような議論があった。

- ・鹿島臨海工業地帯には石油コンビナートが立地し、石油精製能力、エチレン生産能力、発電能力とも高く、我が国の経済における要衝である。これら企業の立地する堤外地の災害対策は非常に重要。
- ・東京湾の港湾が被災した場合、鹿島港は大きな役割を果たせると考えられる。港湾BCPの観点で、被災港湾の機能代替性について検討していく必要がある。
- ・港湾BCPを策定する際は、復旧・復興の過程においてどの主体がどの範囲を責任もって対応するのか等、役割分担まで検討すべき。

○本日の会議を踏まえ、鹿島灘・外房の地震・津波対策に関する課題・対応策を整理していくとともに、「首都圏の港湾における地震・津波対策の基本方針」の策定に向け検討を進めていく予定。